昭和46年4月5日

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話1・〒754—12
印刷 阿知須砂合よしの印刷

広報あじす

No.233

町の住民登録人口
（46年3月31日現在） 前月比
世帯 1,977世帯 ＋3
人口 8.080人 −49
（男 3.806人 女4.274人）
国勢調査（昭和45年10月1日）
世帯 2.007世帯
人口 8.035人
（男 3.730人 女 4.305人）

伸びる町財政二億円台へ

「教育優先」保ちつつ

四十六年一般会計 当初二億三千三百万円

四十六年度が四月からはじまりましたが町財政も三月定例議会で承認を得て二億三千三百二十七万円（兄さんさあ船出）でスタートしました。昨年の「ヒャク」予算より約二三%増となり、当初予算としてははじめて二億円にのぼりました。

ゴルフ場の寄与めだつ

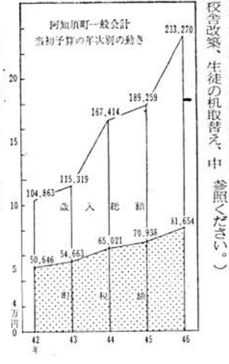
歳入 総額は二億三千三百二十七万円（兄さん、さあ船出）で前年度当初額より四千四百一万一千円の増。そのうち町税（町民、固定資産、軽自動車、たばこ消費、電気ガス、木材取引、入湯、都市計画の各税を含む）は八千一百六十五万四千円。国から受ける地方交付税は八千八十四万五千円を見込んでいます。この二つで約七〇%を占めます。このほかにゴルフをする人が納める娯楽施設利用税が千五百万円、国庫と県支出金が約三千二百万円計上してあります。

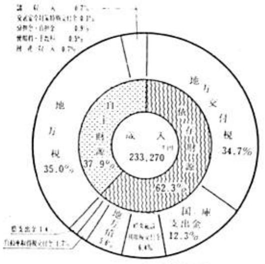
娯楽施設利用税はゴルフをする人が納める税（一回六百円＝県税）のうち町に還元される額が二百円（従来は百円）に引上げられたため、前年の二倍以上を見込んでおります。

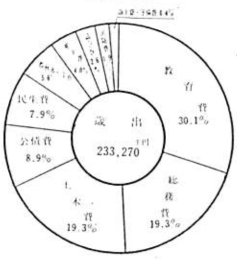
教育費が三〇%強

歳出 一ばん大きい比重を占めるのは教育費の七千二十六万五千円で、全体の三〇・一%。ついで総務費と土木費がそれぞれ一九・三%です。教育費は阿知須小学校の校舎改築、生徒の机取替え、中学校の排水工事、団体育成助成金などふえています。土木費は道路舗装、排水溝整備など。総務費は職員給料や役場全体の維持管理に必要な経費など計上しています。

歳出の内訳は別表のとおりです（項目などは町長の施政方針をご参照ください。）







施政方針

町長 中尾岩雄

四十五年度も計画どおりの事業が遂行でき、みなさま方のご協力を感謝致しております。

四十六年度当初予算は一般会計が二億三千三百万円余りですが、これは通常的な骨格予算で、道路建設事業等は町以外のお金で事業をするように国や県にたくさん申請しています。したがって認可があれば昨年同様、追加して計上することにしています。

民生関係では八十歳以上の老人に長寿を祝って毎年三千円の敬老年金。三人以上の子どもが生まれたときは特別出生手当として二万円、四人以上には三万円をさしあげ温情のある行政をしたいと思っています。

産業関係は漁業振興のためコンクリートの漁礁を設置します。農業は昨年から米の生産調整問題があるが家々の事情をよく考えて、転換作の作付指導などをしていきたい。商工会の助成は昨年より十万円増額し七十万円にしています。

土木関係は都市計画街路事業の継続、町道の舗装、下水側溝の改良などを予定しています。

教育関係はいつものように教育優先でいきたい。特にことしは、阿知須小学校の南側二階校舎を鉄筋コンクリート建に改築します。現在の生徒数からすると国庫補助は少ないが、将来を見込んで町費を相当つぎ込んで建てたい。解体した跡はプールを造る予定。そのためプールの管理なども兼ねるため宿直室もつくる。中学校は校地内の側溝整備に当る計画です。

社会教育関係は団体育成のため青年団、婦人会、体育協会などへ八十四万円を計上しています。

交通消防関係は「交通防災対策室」を設け、安全指導や災害を未然に防ぐようにつとめます。消防費は第二分団（井関）の車庫を移転して早く出動できるようにするほか、第一分団（阿知須）の可搬式ポンプを買い替えるようにしています。

当初予算には盛っていませんが現在、国や県に申請しているものは引野道路の舗装、岡山農道、源河、浜表、日の農道や、都市計画道路、河内農免道路、黒谷溜池の改修などがあります。役場そばから砂郷本通りの舗装、岩倉の国鉄袴線橋の付替え工事も予定しています。さらに国道一九〇号線の歩道整備、バイパスの着手など計画中です。県には、阿知須—善和線の県道改良、井関川、土路石川の改修を続けてやってもらい安全をはかりたいと思います。

四十五年度も一億円になんなんとする額を国、県からもらっています。新年度も前年に劣らないよう陳情、請願して町費以外のお金でたくさんの事業をやっていきたいと思っています。

特別会計では国民健康保険事業は医療費の増大で財源が苦しくなりそうですが町民負担は現行どおりにし、もし赤字が出た場合は一般会計で補いたい。

水道事業は宇部市から水を分けてもらうことになるので断水などのおそれはなくなると思います。

交通災害共済事業は本年から県下の町村が掛金を一人三百六十円を五百円にしました。他町村は赤字が多いが、本町は事故にあう人は多くても共済に加入されていなかったり、支払額が少なかったりして赤字まではいっていません。新年度からは掛金が高くなりますが、たくさん加入していただき万一の災害にそなえていただきたい。

以上、大要ですが、本年度も前年同様、努力して住みよい町づくりに邁進するつもりです。ご理解とご協力をお願いいたします。

長寿たたえ 子福を祝う

町独自の福祉手当をさしあげます

三人目以降は二～三万円を

特別出生手当

三人以上出産された人には町が特別出生手当をさしあげます。

お子さんのすこやかな成長を祈り、将来、社会に貢献していただこうというのがねらいです。金額は三人目の出産が二万円、四人目以降は三万円です。しかし、支給するとき現に生存している人数で算定するため、実際には四人生まれていても、支給するとき一人死んでおれば三人ということになります。

こうした出生手当を市町村が支給するのは県下で本町が最初。この適用は四月一日からです。

八十歳以上に三千円の年金

毎年九月に支給

八十歳以上のお年寄りに毎年三千円をさしあげることになりました。毎年四月一日現在で満八十歳に達し、しかも本町の住民基本台帳に名前が載って一年以上になる人が対象です。支給は毎年九月。今年度の対象者は約百人です。

一万円に引上げ

国民健保の助産費

国民健康保険の加入者が出産した場合の助産費が一万円引上げられました。従来二千円でしたが法が改正され四月から八千円多く支給されるようになったものです。

なお、国保加入世帯のうち転入転出、出生、死亡があったときはその日から十四日以内に住民課国保係にお届けください。

議会だより

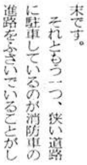
三月定例議会には二十議案上程され全議案とも原案どおり可決されました。

主なものは予算関係、条例の改正などでした。

予算は四十五年度町の最終予算補正、四十六年度予算認定など。条例は役場の機構改正、職員の給与改正、杖川の道路の町道認定、敬老年金、特別出生手当の条例制定などでした。

四十五年度最終予算額は一般会計が歳入歳出とも三億一千七百五万九千円、国民健康保険事業が四千一百十七万七千円、簡易水道事業が四千七百五十九万九千円、交通災害共済事業が二百八十六万一千円となりました。

ソット あなたに



緊急車のじゃまをしないように

大火にこそならないが、このところ消防車の出動するようなボヤが続いています。ところがその消防車と前後してヤジ馬の自動車が火災現場に向うので消防車は大弱り。しかも、火災現場近くに自動車を止めるので、消火作業にも支障を来たす仕末です。

それともう一つ、狭い道路に駐車しているのが消防車の進路をふさいでいることがしばしばです。先日、密集地でボヤがあったときも商店街で消防車が一時停車や徐行しなければならないほどでした。

どうか緊急車優先を頭に入れて自動車を扱ってほしいと思います。それもドライバーとしての大切なマナーではないでしょうか。

46年度一般会計当初予算

歳出		歳入	
款	金額	款	金額
議会費	6.096 千円	町税	81.654 千円
総務費	45.086	娯楽施設利用税交付金	15.000
民生費	18.508	自動車取得税交付金	4.000
衛生費	9.388	地方交付税	80.845
労働費	16	交通安全対策特別交付金	100
農林水産業費	12.961	分担金および負担金	2.150
商工費	855	使用料および手数料	1.159
土木費	45.080	国庫支出金	28.755
消防費	4.495	県支出金	3.313
教育費	70.265	財産収入	1.636
公債費	20.470	繰越金	1
予備費	50	諸収入	1.657
		町債	13.000
歳出合計	233.270	歳入合計	233.270

今年度の納税予定

税目	納期
町・県民税 普通徴収	八、八、十、一月
町・県民税 特別徴収	六～五月
固定資産税（都市計画税）	四、七、十二、二月
軽自動車税	四月
国民健康保険税	四～三月

お知らせ

住所の異動はすぐ届け出を

四月は就職、入学などで住所の異動がはげしい月です。もし、町外に住所を移された人、あるいは町内に移ってこられた人があれば十四日以内に「住民異動届」をお出しください。

住所とは現に生活をしているところをいいます。したがって大学入学などのため下宿や寮に移られた人の場合は、その下宿や寮が住所になります。

そのため、町外に転出したまま住民票を阿知須においておられる人は法の定めにより職権で住民基本台帳から消され、今後、住所証明が受けられないため各種の免許申請ができなくなります。住所を変られたときは必ず十四日以内に役場で手続きをしてください。

町民運動会は18日

第十五回町民運動会は四月十八日午前八時から阿中グランドで開かれます。（雨の場合は、五月九日）昨年まで合同で出場していた砂合部落と飛石部落がそれぞれ単独で出場することになり、さらに前山部落の初出場もあって昨年までの十三部落が十五部落出場することになります。

午後五時まで延長

役場の執務時間

役場の閉庁時間は冬の間だけ平常に戻し午後四時三十分までとしていましたが、四月から三十分延長し午後五時までになりました。

したがって午前八時三十分～午後五時となりました。これは十月まで続く予定です。

チャイムは夕六時

子どもの帰宅時間を知らせる役場のチャイムは四月十五日から一時間延ばし「午後六時」に変ります、十月末まで「六時」が続きます。

労災保険の説明会

四月二十日小郡で

従業員の業務上の負傷や疾病を補償される労災保険は毎年五月十五日までに保険料を報告することになっていますが、このための説明会が次の日程で開かれます。

本年度は法律の改正（料率、補償等）があり、労基署では雇用主はぜひ出席してほしいと望んでいます。

日時 四月二十日
午前十時～正午（建設業、林業）午後一時～三時（一般業種）
場所 山口県農業共済組合連合会会議室（小郡警察署前）

報告は四月中に

事業所の労働者数

労働者を一人でも使用している事業場は、毎年四月一日現在の労働者数を四月三十日までに労働基準監督署へ報告することが義務づけられています。事業主は期日までにご報告ください。

報告先は 山口市緑町六の十二 山口労働基準監督署です。

二十四日に本町を紹介

山口放送ふるさとさん

KRY山口放送が毎週土曜日にテレビ放送している〝ふるさとさん〟で阿知須町がとりあげられ四月二十四日に放送されます。阿知須町の歴史、話題、将来計画等について紹介することになっています。ごらんください。

放送日 四月二十四日（土）
十二時三十分～一時間
再放送 四月三十日（金）
十五時十五分～一時間

4月の行事予定

- 8日（木）三校入学式
- 10日（土）献血（午前9時～正午）
- 11日（日）県議会議員選挙投票日（午前7時～午後6時）
- 13日（火）乳児検診（午1時～3時）三種混合予防接種（午後1時～1時半）
- 18日（日）町民運動会（阿中午前8時）
- 19～21日畜犬登録と狂犬病予防接種（町内巡回3日間）
- 22日（木）豚コレラの予防接種（町内巡回）
- 23日（金）生ワクチン投与（午後1時半～2時半）
- 24日（土）「ふるさとさん」放送 11チャンネル（午後0時30分～1時30分）
- 25日（日）青年学級開講式（午後1時）
- 29日（木）天皇誕生日

「まだ渡れる」は「もうあぶない」……交通安全標語

（とじておくと便利です）

きれいな環境を

二十二日は「清掃の日」

四月二十二日は「清掃の日」。この日を中心に十九日～二十五日までを「環境衛生週間」として、全国的にきれいな生活環境づくり運動が展開されます。

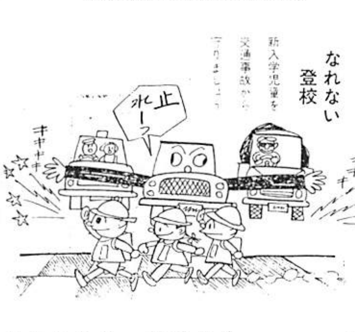
これは、ごみなどの汚物を衛生的にとり除き、生活環境を清潔にすることを目的として二十九年四月二十二日に「清掃法」ができたのを記念して定めた日です。

本町でも「清掃で美しい町づくり」をめざしております。これから先、伝染病が発生しやすいシーズンを迎えます。ゴミ捨てパックや公共施設などきれいに保っていきたいものです。

海のゴミも一掃を

昨年の十月、阿知須の海がゴミで汚れているため、漁業者が総出でゴミ焼きをしましたが、最近、また千鳥ガ浜を中心に海岸沿いにプラスチック、木片、竹材などで汚れが次第にひどくなって来ています。これからさき、潮干狩のシーズン、さらに海水浴シーズンと続きますので、海をきれいに守るためにゴミは川や海に流さず、きめられた場所に持って行くか、焼却するようにご協力をお願いします。

みんなで進める運動



なれない登校

「女性の権利と責任」をテーマ

十日から婦人週間

毎年四月十日から一週間、労働省の主唱で婦人週間がくりひろげられますが、ことしのテーマは「今日に生きる女性の権利と責任」がとりあげられています。

わが国の婦人が参政権を得てことしで二十五周年になるので、いま一度、母性として、職業人として、あるいは地域の一員としての役割りを検討してみようというのがねらいです。

町内あれこれ

老人ホームで火災避難訓練

「おじいちゃん、しっかり！」抱かれながらの避難訓練に付添いも激励する…。三月十一日、宇部と阿知須の境にある老人ホーム日の山寮の火災訓練が行なわれたときのひとこま。万一の火災に備えて宇部消防署、東岐波消防団、阿知須消防団員合同で出動、老人を救助する訓練をしました。現在、日の山寮には五十三人（男一七人女三六人）が入寮中です。

しっかりつかまって……避難する老人

阿知須は好成績

今春の高校合格率

今春の阿知須中学校の卒業生は百二十六名（うち六名就職）でしたが、このうち七十五名が県立高校。二名が国立高専に合格しました。高校進学者の公立学校合格率は六三％。しかも山口中央高、宇部高、宇部工高は受験者全員が合格するなどよい成績をおさめ、他校からも「阿知須はよかった」といわれています。

なお公立校の受験者は百一名であったため受験者に対する合格率は七四％強です。合格者数は次のとおりです。

	男	女	計
山口	九	〇	九
山口中央	｜	七	七
山口農業	四	四	八
宇部	八	三	一一
宇部中央	五	九	一四
宇部工業	九	｜	九
宇部商業	〇	二	二
宇部農芸	一	〇	一
小野田工	八	｜	八
厚狭	｜	六	六
大島商船高専	一	｜	一
宇部工業高専（二）			宇部高へ

砂飛が連続優勝

町内駅伝競走

第二十一回町内駅伝競走は三月十四日、六チームが参加して行なわれ、砂飛チームが昨年に続いて連続優勝しました。

コースは阿知須小学校を出発して町内の主要道路をめぐり、飛石の原田石油店そばをゴールとする七区間一万三千九百五十㍍。

レースは二区から六区まで旦岡がトップでしたが、最終区間で砂飛の吉野喜代博選手が一人抜いてトップにたち、そのままゴールインして優勝の栄に輝きました。

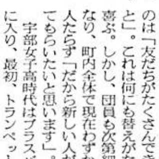
成績は次のとおりです。

〔チーム成績〕①砂飛51分43秒②旦岡③小古郷④引野⑤寺浜⑥中西

〔区間賞〕一区小学生＝福永悟（寺浜）二区青年＝兼重隆文（旦岡）三区中学生＝山田新吾（小古郷）四区四十代＝釈野激章（引野）五区高校生＝藤井弘幸（旦岡）六区三十代＝金重千之（小古郷）七区青年＝吉野喜代博（砂飛）

（写真は中継する選手）

人



社会教育功労表彰を受けた古川貞子さん

明朗なお嬢さんである。黒い瞳がくりくりと動く。声もはずんでいる。まさに若さがいっぱいという感じ。三月十四日の町社会教育振興大会で社会教育功労表彰を受けたが「どうして私が受けたか判りません」と謙遜する。しかし、青年団の行事には欠かさず参加し、教育委員会の行事もよろこんで手伝いをする。労力を惜しまないところこそ表彰に価するところであろう。

青年団に入ったのは、いとこに誘われたため。高校を出てすぐのことだったが以来二年、最年少者ながら精勤した。コーラスのメンバーに加わり、演劇もやった。スポーツ行事もよく出かけた。「家のことはあまり手伝いませんから……」と笑い声が転ぶ。もっともこの年代で農業を手伝う人は少ない。

青年団に入ってよかったと思うのは「友だちがたくさんできたこと」。これは何にも替えがたいと喜ぶ。しかし、団員も次第細りとなり、町内全体で現在わずか二十人たらず「だから新しい人が入ってもらいたいと思います」。

宇部女子高時代はブラスバンドに入り、最初、トランペットを吹いてみたが息が続かないためドラムに変った。宇部市民の前で演奏したこともある。いまはもっぱらレコード鑑賞が趣味。勤めは阿知須同仁病院の衛生検査室。薬品を使って病状を調べるのが仕事。家は浜表。三人兄妹の末っ子。

身障者は全額免除されます

軽自動車税など

身体障害者およびその家族が身体障害者のために使用する自動車に対しては自動車税、軽自動車税自動車取得税が減免されます。減免を希望される方は四月二十日ごろまでに申請手続きをしてください。

手続きは

軽自動車税（原付を含む）＝町税務課
自動車税＝県税事務所
自動車取得税＝　〃

です。

対象となるのは身体障害者、または身体障害者と生活を共にしている家族が、身体障害者の通院、通学、生業のために運転する自動車です。また十八歳未満の身体障害者がある場合はその人と生計を共にしている者が取得、または所有する自動車にも適用されます。

身体障害者についてはその障害の程度によって基準がありますので手続きするときは身体障害者手帳または戦傷病者手帳を提出してください。

特に町税の対象となる軽自動車税は四月二十日ごろまでに町税務課で減免の申請手続をすませてください。全額免除されます。年度なかばではその都度、減免申請の手続きをすることになります。自動車取得税も同様です。

「交通防災対策室」を新設

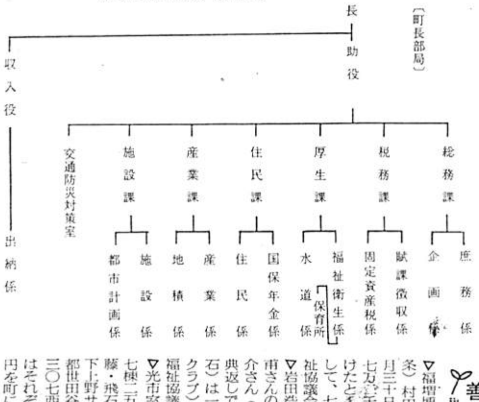
県下の町村でははじめて

役場機構一部改正

役場の機構が四月一日から一部変りました。

新たに「交通防災対策室」＝課同格＝を設け交通安全、消防、その他、町民の安全をはかるため対処することになりました。交通関係で課や室を設けているのは県下の町村でははじめてです。これに伴ない消防防災係はなくなりました。また産業課に地積係を新設しました。異動は次のとおりです。

住民課長（厚生兼住民課長）　田辺　勝
厚生課長（厚生課水道係長）　中村　優照
厚生課水道係長（施設課施設係）　磯崎　英規
施設課都市計画係長兼務を解く（施設係長）　坂田　洋祐
施設課都市計画係長（同係）　江本　英明
施設課施設係（税務課賦課徴収係）　西村　哲
交通防災対策室長（総務課消防防災係長）　田辺　正一
産業課地積係長兼務（産業係長）　村重　貞男
産業課地積係（同課産業係）　福岡　芳博
産業課地積係（施設課施設係）　河崎　鴻
産業課産業係（税務課賦課徴収係）　松重　信
税務課賦課徴収係（新採）　村田　博志
施設課施設係（新採）　塩谷　誠一
交通防災対策室（新採）　吉野喜代博
税務課賦課徴収係（新採）　藤重　亨子
砂郷保育園保母（新採）　益森　栄
厚生課福祉衛生係（砂郷保育園保母）　村田　道江
岩倉保育園（砂郷保育園）　網田　弘子
砂郷保育園（岩倉保育園）　岡村トシエ
交通防災対策室兼務（総務課庶務係）　田中　圭子
教育委員会社会教育係（新採）　中嶋　清



〔阿知須町役場 機構図〕

教員人事異動

〔中学〕
勝山校長　小池　文雄　阿知須頭
阿知須頭　斉藤　真文　白石
阿知須　三戸　俊幸　上宇部
〃　鎌田　進　柚野
〃　秋本　純男　徳佐
小郡　久保　実　阿知須
大内　光田　幸隆　〃

〔小学校〕
阿知須　武波　英子　秋穂
〃　小田　秀昭　小郡
琴芝　磯村千代子　阿知須
小郡　城市　里美　〃
〃　徳永　修　〃
井関　内田　信正　鳳鳴
〃　林　道彦　鈴野川
華城　金山　政秋　井関
吉母　原田　稔生　〃

むかしの資料を残しましょう

郷土室で保存します

むかしの生活を知るための資料があればご寄贈いただけませんでしょうか…町ではすたれゆく資料を保存し後の世代に伝えるため民俗資料を集めています。

保存は合同納骨塔の三階を郷土資料室として、町内に残るむかしの生活用品をここに集めて、展示することにしています。

骨とう類ばかりでなく、一般の農家や民家で日常使っていた家具、生活、職業用具、教科書などで結構です。家を建て替えられるとき出てきたものなどあれば役場か教育委員会にご連絡いただきたいと思います。

たばこは町内で

百円のたばこで約十三円の消費税が町に入ります。

ご協力をお願いします。

縄中さんら表彰

町社会教育振興大会

町社会教育振興大会は三月七日町議事堂で開かれましたが、この大会で縄中房一さん（七二）＝小古郷東＝は吉敷郡教育委員会から、また古川貞子さん（二〇）＝浜表＝は町教育委員会からそれぞれ社会教育功労者として表彰されました。

縄中さんは地域の清掃に率先して当った功績、古川さんは青年団活動に精励したことがたたえられたものです。

善意はここに

▽福増博人（縄南）酒迎道義（西条）村田忠昭（中村）さんは、三月三十日に西条ふじみや前で現金七万[illegible]千八百円を拾い警察署に届けたところ落し主が判り、謝礼として、七千円もらったのを社会福祉協議会に寄付。

▽岩田浩一さん（寺河内）は父敬市さんの香典返し二万円。藤田研介さん（引野）は子保右さんの香典返しで一万円。引藤勝治さん（飛石）は一万円。松風会（西条老人クラブ）は三千円をそれぞれ社会福祉協議会へ寄付。

▽光市室積新開、新日鉄アパート七棟二五号津秋富子さん（旧姓伊藤・飛石出身）吉敷郡小郡町山手下上野サダさん（東区出身）東京都世田谷区南烏山二丁目八番二一三〇七西村凡司さん（源河区出身）はそれぞれ広報紙送料として一千円を町に寄付。

お話聞いて豊かな心を

新年度　受講者を募集中

父親　婦人
母親　幼児　｝各学級
青年（一般教養・料理講座）

申込み　町教育委員会

慶弔録

出生（おさやかに）

父	続柄	子	月日	部落
小倉洋正	弐女	真理	2・26	南祝
村長惟男	弐女	佳代	2・19	仙在
林間英世	長男	篤史	2・20	旦北
石川正義	長男	淳一	3・1	築地
香川利雄	長男	利之	3・2	赤迫
西村克昭	長女	綾子	3・1	砂二
上岡喜憲	長男	和人	3・3	砂一
宮重新次	長女	比奈恵	3・3	浜
青木　孝	弐男	宏之	3・10	浜
藤井信征	長男	晃	3・17	日門松
西村正文	長女	幸	3・20	河内
芥川　進	弐女	洋子	3・15	引野
有岡輝雄	長男	剛	3・23	源河
平野　真	長女	弥生	3・28	小西

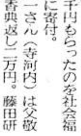
婚姻（おしあわせに）

杉永洋一郎　彩子（後藤）　大分県佐伯市　小西
福富　稔賢　トモエ（百合本）　萩市椿東　井関
万代　英男　恵美子（浅田）　美祢郡秋芳町　浜
縄吉　学　美知子（大浜）　築地　恵比須
平塚　友来　トミエ（西岡）　小野田市小野田　砂三
河井　政頼　昌子（叶谷）　徳山市戸田　中村
田中　信也　康子（坂野）　吉敷郡小郡町　浜
口羽　敏彦　咲枝（古谷）　阿武郡阿東町　砂三
田中　辰雄　艶子（水津）　阿武郡阿東町　浜
田辺　修治　実代子（国弘）　山口市嘉川　築地
古谷　卓昭　佐代子（西田）　小野田市小野田　赤迫
縄田　実　寛子（佐々木）　宇部市笹山町　砂三
福田　豊　とよ子（下河）　山口市秋穂二島　岩上
佐々木義夫　八重子（藤村）　防府市久兼　恵比須
辻下　繁　菊代（児玉）　宇部市東岐波　岩辻
伊東　修　仁子（中川）　山口市佐山　河内
中村　幸治　千恵子（三隅）　宇部市神宇部　砂一

死亡（おくやみ申上げます）

氏名	死亡月日	年令	部落
野村チエコ	3・2	55	日門松
上野　ヒサ	3・19	73	岩西前
金沢　逸子	3・19	28	縄南
藤井　トメ	3・22	80	旦西

短歌



第二十三回短歌会詠草

中西輝磨選

熱出でて食事の摂れぬ日が続き血管撮影今日も延ばさる
岩倉上　中本　幸枝

朝の陽の射すせり台にぼらは跳ぬいかの吐きたる墨によごれて
北祝　原田英子

風おちて時雨来りし山の上ひととき高く虹のかかりつ
飛石　藤重　幾代

解かれたる古きお寺の屋根組の竹にて作りし茶杓いただく
縄田北　益森　篤子

陽のいまだ昇らぬ沖に響き居る海苔採る舟のエンジンの音
砂合一　松代　一郎

鍬を振る腰をのばして土くれを割りゆくごとにかげろうのたつ
砂合二　渡辺　宮子

腹ばいて機械をなおす吾が夫のかたへに居りて工具を渡す
浜　石田サダ子

二十四回短歌会

四月十七日（土）午後七時から兼重きぬさん（寺河内）方で。

雑詠二首を十三日までに大野きぬえさん（北祝）か兼重さんまで